



MEIJI
UNIVERSITY

SCHOOL OF BUSINESS ADMINISTRATION

経営学部のススめ 2017

飛び出せ、世界へ。



地球市場時代のフロンティアを創造する

経営学部は現在、「グローバル経営人材」と「事業創造人材」の育成に力を注いでいます。日本企業のグローバル化と多様化の進む社会において、コミュニケーション能力、プロジェクトを立ち上げ導く企画力やリーダーシップなどが求められています。これらを磨くために、経営学部では様々なサポートプログラムを用意しています。



グローバル社会への扉を開こう



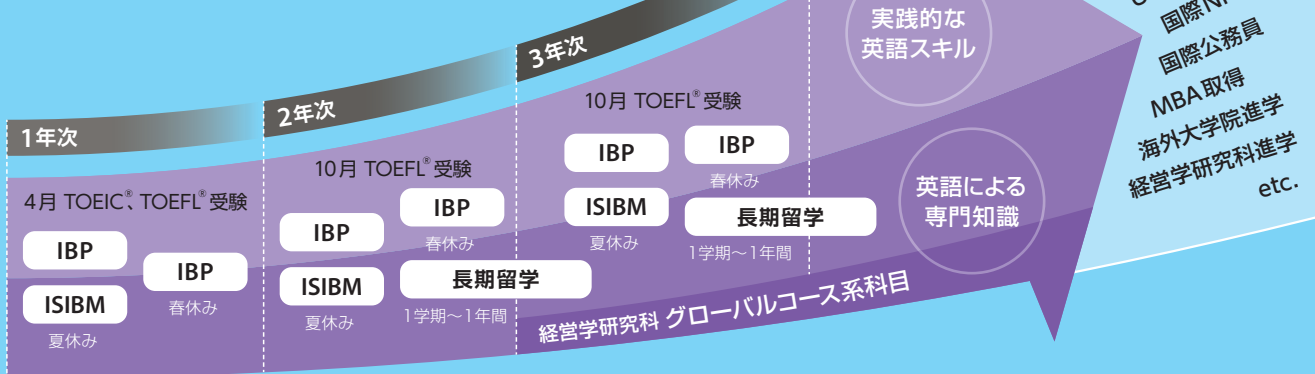
GREAT (Global Resources English Applied Track)

英語スキルと専門知識の融合

グローバル経営人材育成トラック「GREAT」は、将来、海外留学や国際ビジネス分野での活躍をめざす学生のための4年間のカリキュラムです。特別編成の少人数クラスで実践的な英語スキルを身につけながら、英語による授業科目で教養や専門知識を学びます。経営学部独自の海外短期プログラム・長期留学も積極的に利用して、自らグローバル社会への扉を開き、将来のキャリア・パスへとつなげましょう。3年次からは経営学研究科のグローバルコース系科目を履修して、さらに専門的な内容を英語で学ぶこともできます。トラック修了者にはTOEFL 試験の達成度や留学経験の有無等に応じて修了証書が授与されます。

入学時に実施されるTOEICのスコア上位者が対象となりますが、1年次春学期でGREATの対象にならなかった学生でも、所定の要件を満たせば1年次秋学期、2年次春学期からGREATに任意で参加することができます。

- ※1 入学時に実施されるTOEIC®スコア上位100名が対象になります。
- ※2 図中のIBP、ISIBM、長期留学は応募可能な海外留学の時期を示します。
なお、海外留学はGREAT修了の必須要件ではありません。



	1年次	2年次	3年次	4年次
実践的な英語スキル	「Study Skills」や「English for Business Studies I」などの科目において、4年間のGREATや正規留学に必要な英語スキルの基礎を学びます。	「English for Business Studies II」や「Academic Writing」、「Academic Presentation」において、より高度な英語スキルを身につけます。	1・2年次で学んだ英語スキルと専門知識をさらに発展させ、「ビジネス英語」や「ビジネス・プレゼンテーション」などの科目においてビジネスの専門分野で必要な英語スキルを学びます。	
英語による専門知識	「Global Issues」などの科目においてグローバル社会に通用する国際教養を英語で学びます。	「Introduction to Management」、「Basic Accounting」などの科目において英語による専門知識の基盤作りを行います。	より専門的な経営・会計・公共経営学科専門科目を含む幅広い英語による授業科目を履修します。	グローバルコース系科目（経営学研究科） ※要件を満たせば履修可能

IBP (International Business Program)

世界への初めの一步IBP! 世界への視野を広げるきっかけに!

IBPは、経営学部独自の海外短期留学を行う実習科目で、2002年度から課外の海外語学研修としてスタートし、これまでに600名以上の経営学部生が参加しています。実習先では、英語研修、現地企業訪問、ホームステイなどを通じ異文化や社会を体験します。英語の学習だけでなく、相手国の生活や文化、習慣を身近に体験することで国際理解を深めるねらいがあります。

正規の科目として、単位付与(3単位)しています。生の英語に触れる機会として、また半年や1年といった海外留学を希望する方にはその足がかりとして積極的に参加することを期待しています。

2017年度

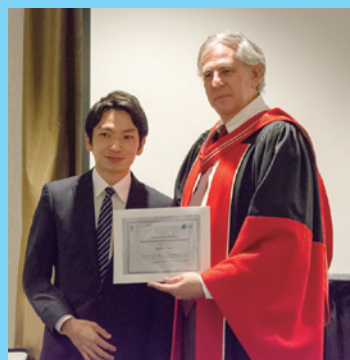
実習先 ▶ Portland State University
(アメリカ オレゴン州・ポートランド)
San Jose State University
(アメリカ カリフォルニア州・サンノゼ)

日 程 ▶ ① IBP A (夏期)
ポートランド州立大学 8月23日(水)～9月17日(日)
サンノゼ州立大学 8月19日(土)～9月17日(日)
② IBP B (春期) 2・3月(30日前後)

ISIBM (International Summer Institute for Business Management)

カナダで学ぶビジネスマネジメントプログラム

経営学部の協定校ヴィクトリア大学ビジネス学部(カナダ・ヴィクトリア)にて行われる3週間のビジネスマネジメントプログラムです。経験豊かな教授陣による授業やゲストスピーカーによる講義、企業訪問、パーティー、アクティビティなどが組み込まれています。プログラム修了後、最大6単位を卒業要件単位として認定できます。参加者の中から条件を満たした学生には補助金が支給されます。(応募者多数の場合は選考あり)



2017年度

実習先 ▶ University of Victoria (カナダ ブリティッシュコロンビア州・ヴィクトリア)
日 程 ▶ 8月1日(火)～8月20日(日) 20日間 [プログラム日程]

学部間協定留学

海外の大学で修得した単位の一部認定も!

明治大学経営学部と交換留学の協定を締結している以下の協定校に、経営学部生が交換留学生として留学するプログラムです(学位取得を目的とした留学ではありません)。半期または通年で留学しても、諸条件を満たせば4年間で卒業することも可能です。学費は本学へ納入する必要がありますが、留学先の授業料は免除されます。

■ **ヴィクトリア大学** [ビジネス学部]
(カナダ・ヴィクトリア)

■ **カーディフ大学** [カーディフビジネススクール]
(英国・ウェールズ)

■ **ESCEM ビジネスマネジメントスクール**
(フランス・トゥール/ボワティエ)

■ **IPAG ビジネスクール**
(フランス・パリ/ニース)

■ **ソウル国立大学** [経営学部]
(韓国・ソウル)

■ **中山大学** [国際金融学院]
(中国・珠海)

■ **対外経済貿易大学** [国際商学院]
(中国・北京)

■ **香港城市大学** [商学院]
(中国・香港特別行政区)

■ **IE University**
(スペイン・セゴビア/マドリッド)

■ **オスナブリュック応用科学大学** [経営管理・社会科学部]
(ドイツ・オスナブリュック)

■ **ロッテルダム応用科学大学** [ロッテルダムビジネススクール]
(オランダ・ロッテルダム)

■ **シーナカリンウィロート大学** [経済公共政策学部] [サステナビリティ研究国際学部]
(タイ・バンコク)

■ **東フィンランド大学** [社会科学・ビジネス学部]
(フィンランド・ヨエンスー)

2017年度

- ① 7月選考試験: ソウル国立大学のみ
(翌年の3月から留学開始)
- ② 12月選考試験: ソウル国立大学以外の12大学13学部
(翌年の8月または9月から留学開始)

Be Active!! ～海外留学単位認定制度～

学生の皆さんに海外留学を強く勧めています。2015年度から海外の協定校・認定校で正規単位を修得した場合、留学先での勉強内容および修得した単位数を積極的に認定する海外留学単位認定制度を開始しました。

デュアルディグリー・プログラム

日本と海外の学位を両方取得できる、計5年間のプログラム

明治大学経営学部デュアルディグリー・プログラムは、明治大学経営学部での2.5年間、ヴィクトリア大学ビジネス学部での2.5年間、計5年間で日本の経営学士とカナダの商学士の両方を取得できるプログラムです。デュアルディグリー・プログラムでは、学部間協定留学(1学期または1年間)よりも長い期間にわたって海外の大学で学ぶことができ、ヴィクトリア大学ビジネス学部では1年間の実務経験を積むことができる有償インターンシップに参加します。このプログラムは2017年度からヴィクトリア大学への派遣を開始します。



有償インターンシップ

有償インターンシップとは、在学中にフルタイムで給与を得ながら実務経験を積むことができる教育プログラムです。ヴィクトリア大学ビジネス学部に入学期後、夏休み(2回)と1学期間(1回)の有償インターンシップに参加します。

i-meeting (アイ・ミーティング)

キャンパス内から異文化交流! 留学生の友達を増やそう!

i-meetingとは、経営学部が行っている独自の国際交流イベントです。留学生(交換留学生を含む)、一般学生、教職員が参加し、異文化に関するプレゼンテーションやゲーム、各国料理を楽しみながら、国際理解を深め、異文化コミュニケーションのスキルを高めています。2016年度は、和泉キャンパスで1回、駿河台キャンパスで2回実施しました。



英語表現スキルの向上プログラム

英語プレゼンテーション大会

英語によるプレゼンテーション能力を向上させるためのプログラムで、個人、グループを問わず応募できます。テーマに沿って研究してきた成果を英語で披露し、優秀なプレゼンターには表彰並びに賞金を授与します。2016年度は一次審査を通過した11組の学生が発表しました。

MSBAフォトエッセイコンテスト

経営学部の学生と交換留学生がペアまたはグループで写真を撮影し、英語によるエッセイを添えて応募するコンテストです。英語に自信がなくても挑戦しやすく、応募の過程で交換留学生と交流を深めるうちに、「話す」英語力、「書く」英語力が身につきます。2016年度は応募の中から2組の学生が受賞しました。

英語エッセイコンテスト

グローバル社会においては、「話す」英語によるコミュニケーションと同様、「書く」英語によるコミュニケーションも必要です。英語で文章が書けること、自分の考えを英語でまとめ、説得力をもって発信できることが求められます。本コンテストは、800語程度の英語エッセイで競うことにより「書く」英語力の向上をめざします。2016年度は4名の学生が受賞し、賞状と副賞が贈られました。



外国語検定試験による単位認定

2017年度から外国語検定試験による単位認定制度を開始しました。右の表に示す各検定試験の最終到達スコアに応じて、「認定科目(外国語科目)」の単位が認定されます。

認定単位数	各検定試験の取得スコア			
	TOEIC®	TOEFL ITP®	TOEFL iBT®	IELTS™
1	680 - 725	490 - 509	57 - 63	4.5
2	730 - 775	510 - 519	64 - 67	5.0
3	780 - 825	520 - 529	68 - 70	—
4	830 -	530 -	71 -	5.5 -

※IELTSを利用した単位認定は、認定単位数が1単位、2単位、4単位の場合に限りです。 ※スコアの証明書類は申請時から遡って2年以内に受験したものに限りです。



経営総合講義 A (フューチャースキル講座) [1年次開講科目]

実践的な課題で未来を掴む

経営総合講義Aは、1年次春学期にのみ開講しているPBL (Project Based Learning) 型の実践授業です。

ビジネスの第一線で活躍しているビジネスパーソンを「上司」としてお招きし、受講生は「部下」として課題に取り組んでいきます。提示される課題は、実際の



ビジネス・シーンで取り組まれている内容です。受講生はチームに分かれて、課題解決の方策を考え、調べ、検討し、ビジネス提案としてプレゼン報告をします。チーム全員の力が試され、ごまかしは効きません。

自分の可能性を押し広げたい人、仲間と一緒に必死に課題に取り組んでみたい人、ビジネス・シーンのリアルを一足先に体験したい人に、もっともダイレクトに応える講義です。

協力企業と課題 (2016年度)

- 山崎製パン株式会社「ランチパック拡販!!」
- りそなホールディングス「りそな銀行の営業店の10年後の将来像」
- 株式会社ホテルグランドパレス「国内のインターネット宿泊予約サイトで販売する『夏休みの宿泊プラン』」
- 三井住友海上火災保険株式会社「『1DAY保険』の大学生向けプロモーション戦略を立案せよ!」

講義の流れ (以下のフローを2回)

課題提示 → グループ活動 → 一次提案 (プレゼン) → グループ活動 → 最終提案 (プレゼン) → 振り返り

グローバル・サービスマーケティング (Global Service Learning)

海外で社会貢献活動を体験しよう! ボランティア体験から生きた知識を学ぶ

グローバル・サービスマーケティング (GSL) とは、2015年度から経営学部の実習関連科目として設置された経営学部独自の海外サービスマーケティング科目です。サービスマーケティングとは米国の大学で広く取り入れられた実践的教育活動で、単なるボランティア実習ではなく、「社会奉仕」(サービス) 活動を通じて課題解決のための知識を習得することを目的としています。日本と異なる経済状況、文化・生活習慣の中でボランティアを経験し、教員や専門家の指導の下、現地の具体的な社会課題について考え、解決する為の社会貢献活動を行います。本科目を履修し修了すると2単位が付与され、卒業に必要な単位数に算入されます。

2017年度

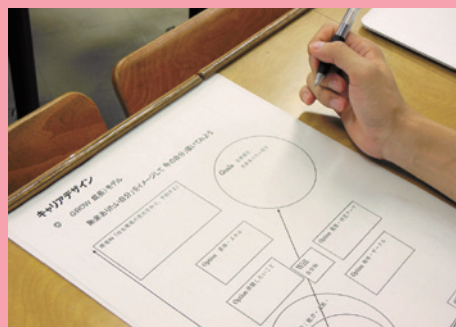
- | | | |
|-------|-----|--------------------------|
| GSL A | 実習先 | ▶ インドネシア・バリ島 |
| | 日程 | ▶ 8月31日(木)~9月13日(水) 14日間 |
| GSL B | 実習先 | ▶ フィリピン・セブ島 |
| | 日程 | ▶ 2月・3月 |



キャリア形成入門 [1・2年次開講科目]

事前準備が何より大事 自分なりのキャリアビジョンを描こう

大学時代は、学問的・専門的な知識を獲得することとともに、社会人・職業人として、自らのキャリアを主体的に形成する準備をしていくことが求められます。本講義では、仕事とは何か、キャリアとは何かを考えていくとともに、社会人として必要な、いわゆる「社会人基礎力」を醸成していくことを目的としています。また、経営学部としての特徴を活かし、将来のキャリア形成の場となる企業や非営利組織についての理解を深めるための分析視点の提供も行います。そのため、それぞれの分野での経験豊かな講師陣によるオムニバス形式での授業とするとともに、ビジネスマナーなど一部実習形式を含む授業となっています。



インターンシップ実習 [2・3年次開講科目]

キャンパスの外へ飛び出せば、その経験が力になる

社会人・職業人への準備段階として、また、経営学部で学んだ知識を実践する場として、企業・行政・NPO等の現場での就業体験を行う実習科目です。実習(派遣)は夏季休業期間などを利用して実施し、派遣先での実習がより有意義なものとなるよう、事前学習から事後報告までを一貫して行うことが経営学部のインターンシップ実習の特長です。

インターンシップ実習を通して、将来について考えるきっかけを作り、そこで得たことを今後の学生生活に生かしていくことを期待しています。本科目を履修し修了すると3単位が付与され、卒業に必要な単位数に算入されます。

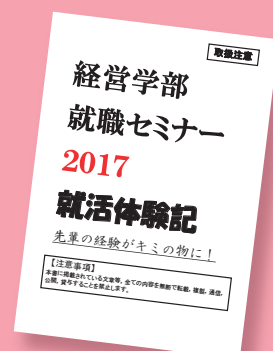
- 実習実績(2016年度)：株式会社岡村製作所／株式会社あおぞら銀行／高見株式会社／株式会社経理バンク／宮崎市／文部科学省大臣官房総務課広報室 など



就職セミナー

就職活動を乗り越えた先輩にFace to Faceのアドバイスをもらおう！

経営学部では【ジュニア・キャリア・アドバイザー(JCA)制度】があり、厳しい就職活動を経験した経営学部4年生が、JCAとして経営学部の1～3年生を対象に就職セミナーを中心とした就職活動支援を行っています。企業主催の相談会と違い、経営学部の先輩たちと近い距離で相談ができ、先輩たちが自分たちの経験を親身になって伝えてくれるところが最大の魅力です。さらにセミナーに参加した学生には、JCAが作成した「就職活動体験記」という冊子も毎年無料でプレゼントし、参加者から好評を得ています。



フィールドスタディ

講義だけじゃない！「現場を体感」し、「現場で学ぶ」教室外学習

事業創造人材育成の一環として、「自分で道理を考え、自分で適切に行動する能力」を創造することを目的に、調査・実習に力点を置いた授業を展開しています。「フィールドスタディ」は、フィールドワークを通じた資料の収集と、それに基づくレポートの作成やプレゼンテーションの実施を核とする実習科目です。1次ステップとして調査対象を観察し、新たな知見を得て自ら行動する能力に加え、調査対象（企業、自治体、NPO法人、特定地域の住民など）への提言を含んだレポート作成やプレゼンテーションを実施できるコンサルテーション能力の向上を目指しています。調査、資料収集、調査対象への提言とフィードバック、一連の作業を学生が主体的に実施していく体験型プログラムになっています。

2017年度 フィールドスタディ科目一覧（予定）

テーマ	実習先（予定）	教員
インドネシア：ジャワ島とバリ島	インドネシア（ジャカルタ/ジョグジャカルタ/ソロ/バリ島）	阿部 卓
カンボジアとタイ	カンボジア（フンベン/シェムリアップ）/タイ（バンコク/アユタヤ）	阿部 卓
宮古島の社会と文化	沖縄県（宮古島市）	居駒 永幸
財務・環境・社会の視点で企業を読み解く	中国・関西方面	石津 寿恵
米国小売業の最新事情調査	米国（ニューヨーク）	大石 芳裕
ベトナム日系製造業のグローバル・マーケティング	ベトナム（ハノイ）	大石 芳裕
日本企業の組織と運営	日本国内の企業	郝 燕書
中国における日系企業の人材マネジメント	中国（北京/上海/深セン/珠海）	郝 燕書
日ロのビジネスと社会の比較	ロシア（モスクワ/サンクト・ペテルブルク）	加藤 志津子
官民連携によるまちづくりの現場	都内近郊	菊地 端夫
地域の潜在力を活かしたまちづくり：尾道市を事例に	広島県（尾道市）	菊地 端夫
京都企業の歴史と現在	京都府（京都市）	佐々木 聡
地方創生と地方都市	大分県（別府市/佐伯市）	中澤 高志
スカートの街、横浜	神奈川県（横浜市）	中澤 高志
地域中核企業・地域産業分析	山形県（酒田市/天童市）/京都府（京都市）/滋賀県（大津市）等	藤江 昌嗣
Qualitative Field Research	東京都	BRADFORD Annette
International Security and Heritage of Yokosuka	神奈川県（横須賀市）	BRADFORD Annette

フィールドスタディ（2016年度実績）



「日ロのビジネスと社会の比較」
実習先：モスクワ/サンクト・ペテルブルク



「中国における日系企業の人材マネジメント」
実習先：北京/上海 ※写真は花王 上海工場



グローバル社会に通用する チカラを身に付けよう



資格取得

TOEIC® 試験 年1回・1年次は年2回（全額助成）

2017年度試験日 11月頃

TOEFL® 試験 iBT：年1回、ITP：年2回（全額助成）

2017年度試験日 iBT：4月～1月/ITP：7月・10月

各種外国語検定試験 年1回（全額助成）

2017年度検定試験日 6月頃・11月頃

春季または秋季のいずれかから年1回、右記の外国語検定料を全額助成しています。初習外国語を中心に日頃勉強している外国語がどれだけ身につけているかを測ることができます。

ドイツ語（ゲーテ・ドイツ語検定） 中国語（中国語検定）
フランス語（実用フランス語技能検定） 韓国語（ハングル能力検定）
ロシア語（ロシア語能力検定）

日商簿記検定試験 年2回

2017年度検定試験日 6月11日・11月19日

簿記の知識は、経営管理・分析を行うための基礎技能として必要とされています。経営学部では簿記検定の取得を目指しており、最多で年2回の検定試験を一部の自己負担で受験することができます。また経理研究所では、日商簿記検定1～3級合格を目指す簿記講座と、公認会計士試験合格を目指す会計士講座を開講しており、学習に最適なサポートを受けることもできます。

経営学部で目指す主な資格

公認会計士/USCPA（米国公認会計士）/税理士
/中小企業診断士/社会保険労務士

所定の単位を修得すれば取得可能な資格

中学校（社会）/高等学校（地理歴史）（公民）（商業）
/学芸員/社会教育主事/司書/司書教諭

『蒼樹』発行

自分の手で論文を書いてみよう！

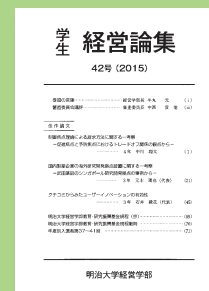
論文やレポートの作成には論理的思考力が必要です。1・2年次に開講している「レポート・論文作成法」は、講義を通して明快な論理によって構成された文章を書くことの訓練ができます。4年次に提出する卒業論文制作への基礎づくりに役立つだけでなく、社会に出てからも応用可能な知の技術となります。履修学生が提出した課題論文の中で特に秀作と認められたものを選び「蒼樹」という論文集が発行されます。「蒼樹」は毎年4月初めに1年生全員に配布し、「レポート・論文作成法」の授業でも参考文献として使用されます。



『学生経営論集』発行

自分の書いた論文が、未来に残る冊子となり、未来の自分の糧となる

奨学制度として懸賞論文制度を設け、学生の教育・研究の振興を図っています。個人論文、共同論文に対し、優秀論文には5万円、佳作論文には3万円が授与されます。毎年多くの学生が、個人単位、ゼミ等のグループ単位で応募し競い合っています。入賞作品は学生経営論集として出版され、高い評価を得ています。



奨学金制度

学部独自の基準による奨学金制度を設け、学業に励む学生を応援しています。

明治大学学業奨励給費奨学金

在学生の勉強意欲を高め、学業の更なる向上に資することを目的として、学業成績優秀者に対して給付します。

明治大学校友会奨学金

校友会からの寄付金を原資として、GPA等学業成績を総合的に審査し優秀な成績を修めた者に給付します。

学部長奨励賞

優秀な成績を修めた者を対象に表彰並びに副賞を授与します。

GREAT 奨学金

3年次からの海外留学などさらなる飛躍を支援することを目的として、GREAT履修の2年次の学生を対象に、TOEFL ITPスコアおよびGREAT総合試験の結果により受給者を決定し、奨学金を給付します。

大学院授業履修の勧め

3年次以上の学生は、所定の条件を満たしていれば、大学院経営学研究科の科目を10単位を上限として履修することができます。英語で行われる授業も数多く開講され、少人数で深い学習ができるとともに、大学院進学の際には、その単位を修了要件に含めることができます。（経営学部の単位にはなりません）

3年早期卒業制度とあわせることで、学士＋修士学位の取得が5年で可能となります。



<http://www.meiji.ac.jp/keiei/>

経営学部事務室

駿河台キャンパス

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 リバティタワー 5階
TEL: 03-3296-4194～5

和泉キャンパス

〒168-8555 東京都杉並区永福1-9-1 第一校舎1階
TEL: 03-5300-1151～2

